(19)日本国特許庁

(11)整磷意匠器号

(45)平成7年(1995)2月23日発行

(12) 黄 匠 公 報 (\$)

920579

(52) J 1.522

(21) 意願 平4-30603

(22)出題 平4(1992)10月21日

(24)登録 平6(1994)12月5日

(72):	削作	Ħ	=	,	筥	簚
(72)1	削作	者	ቀ	村	Ā.	t e
(72)	削作	*	竹	遪		<b>35</b> ,
(72) (		콥	âO	遨	32	, д
(72)  t	則作	À	機		滂	雄
(72) (	11 作	君	萩	谷		黨
$(73)^{\frac{1}{3}}$	张 匠 有	毛 繼	株式	会社	日立祭	
(74) f	4 週	人	<b>幹</b> 題		1. 511	路馬

鍋田

東東郡国分寺市東恋ケ盗1丁首288番地 株式会社日立製作所デザイ ン研究所内

東京都国分容市東恋ケ電1丁目200番地 株式会社日立製作所デザイ ン研究所内

東京都國分寺市東恋ケ窪1丁目280番地 株式会社日立製作所デザイ ン研究所内

茨城県勝田市市宅882番 株式会社日立製作所計画器事業都内 茨城県勝田市市毛882番 株式会社日立製作所引溯醫事業部內 埃城県勝田市市毛882卷 株式会社日立製作所計劃籍事業部內 東京都千代国区律田駿河台4丁昌6番地 外1名

(54)意匠に係る物品

袞

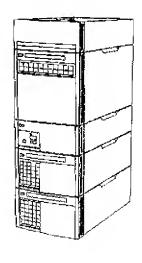
液体クロマトグラフ分析器

和宜

(55) \$\$

本物品は、各種階級の成分に関する分析を目的とし使用されるものであり、各種溶液ボトルを収 納するリザーバー部、複数の試料、試業の分注、資积、添加を行う試料供給部、試料を分析し、 各成分毎に分離するカラムオープン部、動性の分析を行う検出部、複数の溶液を吸入し、混合 比、液量を任意に設定、気泡の除去器を行い、安定した液量の試料を送り出すポンプ部を上下に 配置している。また、各級額部は、ダクト内のジョイントにより接合されている。使用特には、 側面に設けられたダクトパネル内部において、パイプを各機器部に配管し、そのパイプにてリザ 一パー部に収納されたボトル内の分析密筋及び試薬が最下段のポンプ部に吸引され、ポンプ部よ りこれらの容赦を各機器部に送り出すものである。本物品の分析内容は、別体のデイスプレイや プリンターは送信される。本物品の大きさは、幅260mg、奥行き509mm、高さ760mgである。途光 性条利を示す参考器において、薬物色部は透光性素材を示す。

斜视图



遊節状態及び 開壺状態の斜視節

